

平成四年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1) 第二十五回中央教化研究会議

(イ) 期日 九月上旬 一泊二日

(ロ) 会場 未定

(ハ) 管区教研運営委員参加

(ニ) 七部会での討議、訪問研修、記念講演を行なう。

教務部・現宗研スタッフ、現宗研顧問・嘱託・研究員を含む運営会議を開き、内容を協議し企画・運営などの要綱を決定し、部会別資料を作成する。

(2) 教区教化研究会議の開催運営

(イ) 十教区にて開催運営

(ロ) 中央教研のテーマとの関連を踏まえ、各教区・管区で推進し得るテーマを企画し、日常教化上における問題点を検討しつつ、お題目総弘通運動の推進と施策を図る。

(ハ) 管区運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、

企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(イ) 日蓮教学の現代化。中央教研の部会を中心に、継続して討議研究を進めるとともに、教研会議にて提示される教学の問題についても研究してゆく。

(ロ) 教化学研究。教化学研究集会を年二回開催し、教化の在り方、現代教化の方策をまとめる。

(ハ) 日蓮主義研究。法華経・日蓮聖人研究セミナーを開催し、現代の諸問題と教学・教化の研究を進める。

(ニ) 教団論研究。教団研究懇談会を開催し、信仰論・寺院論・僧侶論・教化論・教育論、また宗門の組織機構・教師の資質・布教教化など、教団のあるべき方向を探究する。

(ホ) 研究例会。研究員各自のテーマに沿って研究を継続し、成果を発表する。

(ハ)新宗教研究。現代宗教研究セミナーを開催する。

プロジェクトチームでは、前年度に引き続き、新宗教教団をピックアップし、各教団ごとに沿革・教義・組織・布教体系・活動・本宗との相違などについて基礎資料をまとめ、調査研究を続ける。

(ト)中央教研部会別研究。日蓮宗医療問題研究会を始め、中央教研での部会別研究プロジェクトを発足し、年間を通して継続して研究を進める。

(チ)仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会への参加。

(リ)本宗と他教団との関わりについて研究してゆく。

3、調査部門

(イ)寺院調査。プロジェクトチームでは、引き続き都市部・人口過密地域における宗教事情と宗教活動・都市部寺院の抱えている諸問題などについて調査研究を進める。

4、資料部門

(イ)日蓮宗教化センター設置を推進し、各地域教化センターとの連絡を密にし、教化研究・布教資料などの交換を図り、収集につとめる。

(ロ)図書を購入し、コンピューターによる蔵書の管理を行なう。

(ハ)各種教化資料を収集し、保管する。

(ニ)日蓮正宗・創価学会をはじめ法華系教団に関する資料を収集し、保管する。

(ホ)「現代宗教研究」第二十七号の発行。

(ヘ)平成三年度日蓮宗年表の発行。

(ト)教化資料シリーズの発行。

(チ)ロータスネットの発行。

(リ)総合企画部の委嘱により、宗勢調査の実施に協力する。

5、会議

(イ)地域教化センター連絡会議を開き、各教化センター間の交流、情報交換を行なう。

(ロ)顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。